

令和7年度第2回いちのせき健康の森運営委員会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第2回いちのせき健康の森運営委員会
- 2 開催日時 令和7年10月29日（水）午前10時から午前11時5分まで
- 3 開催場所 一関文化センター小ホール
- 4 出席者
 - (1) 委員 千葉正委員（委員長）、阿部眞委員（副委員長）、千葉真由美委員、鈴木直子委員、亀谷琢委員、長山弘美委員、佐々木承子委員
※欠席者 平野和彦委員、嘉藤久美子委員、菅原清忠委員
 - (2) 事務局 小野寺和宏いきがづくり課長、横山圭いきがづくり課いきがづくり係長、千葉友理恵いきがづくり課主事、佐藤可安いちのせき健康の森所長、小國友也いちのせき健康の森副所長、千葉忍いちのせき健康の森総務管理課長、菅原寛いちのせき健康の森研修課長、菅原美智子いちのせき健康の森総務管理課員

5 議 題

- (1) 令和7年度上期経過報告について
- (2) 令和7年度下期運営計画について
- (3) その他

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者の数 なし

8 挨拶

- (1) 小野寺和宏いきがづくり課長

本日はご多忙のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。

先日、巖美地区において熊による人身被害が発生し、誠に残念ながらお一人の方がお亡くなりになりました。いちのせき健康の森におきましても、11月8日開催予定であった主催事業「親子 de たき火といものこ会」を中止とし、宿泊の皆さまには、早朝及び夜間の外出を控えていただくよう呼びかけることにするなど、熊被害防止対策を行って参りたいと考えております。

一方、須川にも積雪があり、雪の季節が近づいて参りました。今シーズンの祭時スノーランドのオープンは12月20日を予定しております。昨シーズンは降雪に恵まれたことに加え、近隣のスキー場の閉鎖も重なり、来場者が2万人を超える結果となりま

した。今シーズンも十分な積雪を期待しながら、昨シーズンに引き続きイベントを開催し、子ども達の利用促進を図るとともに、ファミリーゲレンデとして安全で楽しい施設となるよう準備を進めております。

本日は、上半期の事業報告に加え、祭時スノーランドを中心とした下半期の計画についてご説明いたします。

委員の皆さまには、いちのせき健康の森の運営管理及びスキー場の安全管理に関し、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 佐藤可安いちのせき健康の森所長

本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

いちのせき健康の森の主催事業である紅葉観察会を先日の25日、26日に実施いたしました。最近の熊出没などの状況下、中止も視野に入れながら下見を重ね、当日は職員3人体制でホイッスル、雷管、スプレー等を携行し、コース内各所に設置されている音鳴らしを鳴らしながら安全を確認し、観察会を行いました。今年の紅葉は例年以上にとっても綺麗に色付いており、全長約5キロメートルの散策コースを、参加者の皆さまは楽しんでおられました。

また、6月から9月に利用の学校宿泊学習で人気のウォークラリーですが、子ども達は元気いっぱいの声を森の中に響かせておりました。今後もあらゆる状況を踏まえ、周囲と協議しながら安全確保に努めて参りたいと思います。

本日は様々なご意見を賜りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

9 審議事項

(1) 令和7年度上期経過報告について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 今後の野外活動を行う際の熊出没などの対策について、改めて強化していくものがあれば教えてほしい。

事務局 森の中の見通しを確保するための環境整備、音鳴らしの増設、職員による日々のパトロール、携行するスプレーの購入等を考えている。

委員 熊出没などで警察に連絡をした場合、セミナーハウス到着までどのくらい時間を要するのか。

事務局 厳美駐在所から約30分である。

委員 全宿泊室にエアコンが設置されるまで、期間はどのくらいかかるのか。

事務局 当初は3か年で計画を予定していたが、近年の猛暑もあるので、来年度には整備できるよう予算要求をしている。

委員 主催事業の自然観察会の参加者は、リピーターが多いのか。

事務局 参加者の約3分の2はリピーターである。

(2) 令和7年度下期運営計画について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 学校行事でスキーセットをレンタルする場合、どのくらいの人数まで可能か。

事務局 80名くらいまではレンタル可能である。

委員 その際のレンタル料金はいくらであるか。

事務局 学校行事のレンタル料金は無料である。

委員 レンタル業務における受付窓口の分散とはどのようなものか。

事務局 スキーレンタルとスノーボードレンタルを別々の場所で行いたいと考えている。

委員 スキーこどもの日の開催日数に関して、昨年の16日から10日に変更したのはなぜか。

事務局 昨シーズンの開催日は駐車場が満車になり、路上駐車をしなければならない状況が多く見られた。そのため、特に混雑が予想される年始の連休と祝日を外したためである。

委員 スキー場のチラシを、登米市や気仙沼市など宮城県北の学校に配布してもよいのではないか。

事務局 一昨年から郵送にて配布している。

委員 冬季、冬眠せずに熊が出没することもあるのか。

事務局 今まではなかったが今年に関しては心配なことであり、熊の出没について、雷や強風によるリフトの停止などの異常事態と同様に、避難誘導など事前勉強会にて確認する。

委員 スキー場の安全対策として、異常事態時の避難場所などが掲示されていれば利用する側の安心材料になると思う。

事務局 今まで以上に気を付けて対策、検討したいと思う。

委員 今回の運営委員会で、来年度の主催事業の日程などを把握することは可能か。

事務局 主催事業に関して確定するのは12月から1月頃であり、今の時点では難しいので、確定後に委員の皆さまにお知らせすることを検討したい。

委員 主催事業のスノーシュートレッキングの対象者が小学5年生以上となっているのはなぜか。

事務局 山の上の方までトレッキングする予定であるため、体力的な面から小学5年生以上とした。